

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	06	01	05	164260	農村施設維持事業費			
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興			
	施策	01	観光の魅力向上					
目的	農村施設の快適な利用及び観光客を対象に農畜産物の消費拡大を図るための環境整備							
対象	農村施設							
意図	施設の長寿命化を図り、施設利用者の安全・安心を確保する							
事業概要	大迫ふるさとセンター空調設備更新 6,820千円 自然休養村センター耐震補強工事実施設計、耐震補強工事等 21,593千円							
市民参画の有無								
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03	
1	施設改修工事等件数			件	計画	4.00	1.00	
					実績	4.00	1.00	
2					計画			
					実績			
3					計画			
					実績			
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03	
1					目標			
					実績			
2					目標			
					実績			
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
・施設設備の老朽化に伴う改修のため。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・市が所有する施設であり、主体的に維持管理を実施する必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・大規模改修を行うことにより長寿命化が図られ、ある程度の補修の抑制が期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・現場の実態に合わせた工法等を検討しており、現場によっては代替性が乏しいことから、削減の余地はない。また、限られた人員の中で現場等との調整を図る必要性があり、人件費についても削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・施設利用者の安全、安心の確保のために行う維持管理であることから適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	・施設の現況を把握し、老朽化による破損及び危険箇所等の改修をすることにより、観光客等の施設利用者の安全、安心を確保することが出来た。
	次年度に向けて	

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	07	01	03	174320	観光イベント開催事業費		
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興		
	施策	01	観光の魅力向上				
目的	地域資源の保全と魅力アップを図るため、まつりやイベントの開催を支援する。						
対象	まつりやイベント						
意図	まつりやイベントが守られ魅力が向上する。						
事業概要	まつり、イベントの開催経費の一部を負担する。 南部杜氏の里まつり（R2で第40回） 田瀬湖湖水まつり イーハートブ音楽祭 石鳥谷夢まつり あんどんまつり イーハートブフォーラム 石鳥谷まつり 花巻まつり 花巻まつり特産品フェア 土沢まつり 大迫ワインまつり わんこそば全日本大会 大迫・宿場の難まつり 事業費合計：61,100千円 上記イベントのうち、開催は イーハートブ音楽祭のみ 190千円						
市民参画の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03	
1	支援対象祭事、イベント支援団体数	団体	計画	13.00	13.00		
			実績	13.00	1.00		
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03	
1	支援対象祭事、イベントへの来場者数（年度）	人	目標	301,500.0	301,500.0		
			実績	334,912.0	150.00		
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、まつりやイベントの中止が相次いだことから、目標を下回る結果となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	まつりやイベントの開催は民間主導で行われるべきものであるが、交流人口の拡大や地域経済活性化に資することから、行政による支援を行うことは妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	適切な助言を行うことにより、まつりやイベントの魅力を向上させることができ、誘客につながるものである。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	支援団体への負担金、補助金の額は、総事業費もふまえて十分に検討されたうえで、その年の状況に応じた額が決定されており、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	まつりやイベントへ市民が参加する機会は平等に与えられている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	新型コロナウイルス感染症拡大を受け、全国的に多くのまつりやイベントの中止が余儀なくされ、結果として入込数は目標に達しなかったが、中止の判断は各実行委員会において十分に検討された結果であり、感染拡大を防止する上ではやむを得ない判断であった。
	次年度に向けて	引き続き新型コロナウイルス感染症の状況をにらみながら、安心安全なまつり・イベントの開催に向け、主催者や出演団体と協議を重ね必要な支援を行う。

令和2年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	07	01	03	174330	広域観光推進事業費		
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興		
	施策	01	観光の魅力向上				
目的	市内への誘客促進						
対象	観光客						
意図	花巻を訪れる機会が広がる						
事業概要	釜石線沿線活性化事業支援 400千円 釜石線沿線の自治体等が連携してSL銀河の運行を軸とした観光PRを行う釜石線沿線広域エリア活性化委員会への負担金 産業観光/体験観光広告宣伝 260千円 北上市と連携し広域的に両市の産業観光や体験型観光をPRする動画を作成 花巻・遠野・平泉観光推進協議会事業補助金 0千円 花巻・遠野・平泉観光推進協議会への事業補助 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、補助事業未実施。						
市民参加の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03	
1	連携する他市町村数	団体	計画	5.00	6.00		
			実績	5.00	6.00		
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03	
1	広域（花巻・遠野・平泉）観光客入込数（暦年）	万人	目標	587.70	586.20		
			実績	576.60	310.50		
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
全国的な新型コロナウイルスの感染拡大を受け、不要不急な外出の自粛・広域的な移動の自粛に伴い、広域観光客入込数が減少した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	コロナ禍により観光客入込数が減少しているところであるが、アフターコロナを見据え広域的な連携により誘客に資する事業を行う必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	他地域との連携により観光地としての更なる魅力向上が見込まれる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	他地域との連携により、各事業に取り組むことで、効率的に実施することが可能となる。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	観光振興は市全体が受益者となる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	コロナ禍のため、例年首都圏で他市町と連携し行っている誘客キャンペーンには市として参加できなかったものの、SL銀河乗客へのおもてなしの実施や、北上と連携した広域的な観光コンテンツのPR動画作成など、状況に応じた必要な取り組みを行った。
	次年度に向けて	アフターコロナに向け、他市町と連携した誘客事業の実施により、新たな観光資源の活用を図り観光地としてのさらなる魅力向上を図る。

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	07	01	03	174380	観光施設維持事業費		
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興		
	施策	01	観光の魅力向上				
目的	観光施設の快適な利用及びおもてなし向上のための環境整備。						
対象	観光施設						
意図	施設を適切に維持管理し、施設の長寿命化と、利用者の安全・安心を確保する						
事業概要	観光施設の大規模改修の実施 ・交流会館屋上防水改修業務委託 330千円 ・大迫ワインハウス早池峰厨房機器更新 12,540千円 ・花巻市交流会館吸収冷温水機取替業務 15,059千円						
市民参加の有無							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03	
1	観光施設の大規模修繕	件	計画	1.00	1.00		
			実績	1.00	2.00		
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03	
1	観光施設の維持修繕件数	件	目標	43.00	40.00		
			実績	40.00	35.00		
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
計画的な大規模修繕を実施したことにより、軽微な修繕の件数が減少した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・市が所有する施設であり、主体的に維持管理を実施する必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・大規模改修を行うことにより長寿命化が図られ、ある程度の補修の抑制が期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・現場の実態に合わせた工法等を検討しており、現場によっては代替性が乏しいことから、削減の余地はない。また、限られた人員の中で現場等との調整を図る必要性があり、人件費についても削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・施設利用者の安全、安心の確保のために行う維持管理であることから適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	観光施設の機能を向上させる大規模修繕を行う当該事業の実施により、同施設の機能向上を行い、利用者の利便性向上につなげることができた。
	次年度に向けて	観光客等の施設利用者の安全、安心を確保するため、施設の現況を把握し、老朽化による破損及び危険箇所等については改修を進める必要がある。また、施設の効率的運営のため、適切な維持管理により施設の長寿命化を図る必要がある。花巻市交流会館の修繕計画について、令和3年度に事業の計画を委託し、次年度から計画的な修繕を行っていく。

令和2年度

事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	03	174410	道の駅「石鳥谷」施設再編事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興	
	施策	01	観光の魅力向上			
目的	道の駅「石鳥谷」の施設の魅力向上、利便性の向上を図るため、施設の再編を行う。					
対象	道の駅利用者（国内観光客、インバウンド、自動車利用者、市民等）					
意図	交流人口の拡大、賑わいの創出を図る。					
事業概要	南部杜氏伝承館の曳家等工事・改修設計等 157,736千円（うち繰越明許費130,338千円） 酒匠館・りんどう亭大食堂改修設計 40,601千円（うち繰越明許費39,391千円） 外構部の各種設計及び支障物件撤去 46,456千円（うち繰越明許費33,184千円） 国駐車場拡張用地取得 19,973千円 国や関係機関、団体との協議・共通経費 156千円					
市民参加の有無	無し					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	南部杜氏伝承館曳家等工事の実施		回	計画		1.00
				実績		1.00
2				計画		
				実績		
3				計画		
				実績		
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1				目標		
				実績		
2				目標		
				実績		
3				目標		
				実績		
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
道の駅「石鳥谷」は、国（国土交通省）が所管する24時間トイレ、情報提供施設、駐車場（国所管分）、市が所管する地域振興施設（南部杜氏伝承館、酒匠館、りんどう亭大食堂、石鳥谷農産物直売所など）で構成する施設である。国と市がそれぞれ所管する施設の整備や改修を連携しながら進めているが、成果として期待する交流人口の拡大や賑わいの創出については、施設再編の途中であり、事業完了後にしか検証出来ないため、成果指標は設定していない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	道の駅は公共施設で構成しており、施設管理者（市）が関与するのは妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	道の駅の施設再編を行うことは施設の魅力向上、利便性の向上が期待できることから、成果の向上余地がある。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	最低限の予算を見積もったところであり、事業費削減の余地はない。また、従事職員も最低限の職員で対応しており、人件費の削減余地が無い。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	道の駅という公共施設の再編に係る事業であり、施設管理者の責任で行うものであるため、受益と負担の見直し余地は無い。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	令和元年度に策定した基本構想・基本計画や南部杜氏伝承館曳家等工事等の各種設計に基づき、令和2年度は南部杜氏伝承館の曳家による移設、支障物の除去やりんどう亭大食堂の内装等改修などを着実に実施することが出来た。拡張予定の国駐車場分の用地を先行取得し（令和2・3年度に国へ売却）、国と連携しながらの事業推進が図られた。
	次年度に向けて	移設が完了した南部杜氏伝承館の展示改修、酒匠館の内装等改修、広場等工事を着実に進めるとともに、国のトイレ・情報提供施設の改築などを引き続き国と連携しながら、令和5年度のリニューアルオープンに向けて施設再編を進めてまいりたい。

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	07	01	03	174420	地域産業安定化事業費		
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興		
	施策	01	観光の魅力向上				
目的	地域の観光資源である温泉施設を運営する第三セクターの経営健全化を図る						
対象	(株)とうわ地域資源開発公社（第三セクター）						
意図	市が第三セクターに直接財政支援を行い、経営基盤を強化する。						
事業概要	経営改善事業補助金 0千円 (株)とうわ地域資源開発公社の売上向上を図るため、専門的な経営コンサルティングに係る費用（3,000千円）に対し、1/2の補助金を交付する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、売上げが著しく減少し経営状況が厳しいことから、経営コンサルティング業務を委託することができないため事業の執行を見送った。						
市民参加の有無							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	株の増資計画	人	計画	9,012.00	9,224.00		
			実績	9,224.00	9,224.00		
2	市の株保有数	人	計画	8,652.00	8,864.00		
			実績	8,864.00	8,864.00		
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03
1			目標				
			実績				
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
本事業の業務内容は、公社の経営改善コンサルティング業務への補助金であるため、成果を計る指標の設定が難しいことから設定しない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	同社が経営する東和温泉は、市民の健康増進や娯楽施設として、また、釜石自動車道の起点にある観光施設として重要であることから、その健全経営を図るためには、市の関与が必要である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	内部の検討だけでは売上向上策が出せないため、専門的なコンサルティングを受けることにより、売り上げを向上させる余地がある。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	専門的なコンサルティング費用に対する補助であり、1/2補助は妥当な割合である。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	第三セクターが直接受益するが、第三セクターの経営が向上すると地域全体の経済の活性化につながる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	新型コロナウイルス感染症の影響により事業を見送りとした。
	次年度に向けて	

令和2年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	03	174440	観光・物産事業者等緊急対策事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興	
	施策	01	観光の魅力向上			
目的	新型コロナウイルス感染症拡大により、事業活動や経営の継続に影響を受けている事業者を支援するため、誘客に資する事業を行う。					
対象	市内事業者・団体等					
意図	観光客を誘引することで、観光事業者はもちろん宿泊・交通・物産・飲食等の観光関連事業者を広く支援しようとするもの。					
事業概要	温泉宿泊施設支援事業 541,060千円 温泉等の利用料金助成や物産品があたるキャンペーン等の実施 花巻市共催等イベント事業中止に伴う経費補助等 5,114千円 新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となったイベントの経費補助 観光関連施設事業持続支援金 1,400千円 施設のコロナ禍による休館に伴い影響を受けた事業者の支援 宿泊施設等関連事業者支援金 9,020千円 市の休業協力依頼に応じた温泉宿泊施設等と取引のある事業者の支援 貸切バス事業持続支援事業 32,600千円 貸切バスの維持・整備費等の経費に対する支援 次年度まつりPRイベント開催支援事業 445千円 山車団体まつり参加継続支援事業 4,674千円					
市民参画の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	支援を行う温泉宿泊施設等	箇所	計画		32.00	
			実績		35.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	観光客入込数（暦年）	千人	目標		2,101.00	
			実績		1,088.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け観光客の入込が減少。主に県民を対象とした宿泊助成事業の実施等により観光客の落ち込みの抑止を図ったが、例年宿泊客は県外客が大半を占めており、コロナ禍によりイベント等の中止も相次いだほか、観光関連施設の休館、インバウンドの激減もあり目標には及ばなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	事業の実施により誘客促進が図られ、事業者への経済的な支援が図られる。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	事業の実施にあたっては、花巻観光協会や温泉宿泊施設等関係者の意見も随時聴取しながら、時宜を捉えて状況に応じ展開する。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業立てにあたっては、関係者からの意見等も踏まえながら事業費や人件費を精査しており、いずれも削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	観光振興は観光客・観光事業者はもちろん、宿泊・交通・物産・飲食事業者等、受益者は多岐にわたる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	宿泊事業者やその取引先、物産事業者、バス事業者など、新型コロナウイルス感染症拡大により深刻な影響を受けている事業者へさまざまな支援を行い、事業活動や経営・雇用の継続の一助となったものと考えられる。
	次年度に向けて	コロナ禍の収束が予見できないことから、引き続き宿泊助成事業や物産キャンペーンの実施等、時宜を捉えさまざまな形で市内観光関連事業者を支援する事業を行う。

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	07	01	03	174450	観光施設等感染症予防対策事業費		
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興		
	施策	01	観光の魅力向上				
目的	観光施設等が取り組む新型コロナウイルス感染対策への支援を行い、感染拡大防止を図る。						
対象	観光施設、観光関連事業者						
意図	観光関連施設等の感染防止策を充実させることにより観光客を誘引し、観光関連産業の支援と感染拡大防止の両立を図る。						
事業概要	感染拡大防止協力金 10,500千円 感染拡大防止のため休業の協力依頼に応じた宿泊施設や日帰り温泉施設、飲食店等の事業者に対し休業協力金を支給 宿泊施設感染症対策等整備事業 5,946千円 宿泊施設における新型コロナウイルス感染症対策のため、市内の宿泊事業者が感染症対策整備を行う場合に、当該整備に要する経費を補助する。 貸切バス事業者感染予防対策事業補助金 2,553千円 R3.4月から東北DCが実施されることに伴い、事前に感染予防対策を講じる必要があることから、空気清浄機、アクリル板設置など、感染対策に要する費用について支援を行う。						
市民参画の有無							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03
1				計画			
				実績			
2				計画			
				実績			
3				計画			
				実績			
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03
1				目標			
				実績			
2				目標			
				実績			
3				目標			
				実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けた緊急的な対策として行った事業であり、達成度を図るものではないため成果指標を設定しない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	新型コロナウイルス感染拡大の収束の見通しが立たない中、観光関連事業者が事業を継続しながらも、感染の拡大を防止するための包括的な支援が必要である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	時機に見合った対策を講じることで、観光関連産業の事業継続と両立させながらも効果的な感染拡大防止を図ることができる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業内容を検討するにあたり観光関連事業者からの意見聴取を密に行い事業費・人件費を精査しており、どちらも削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	裾野の広い観光関連産業における感染拡大防止は、広く市民の感染拡大防止と引いては継続的な経済活動の支援に繋がり、受益と負担の公平性は保たれている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	地域事業者の形態、要望も踏まえながら市として誘客に資すると考えられる感染症予防対策事業を行った。
	次年度に向けて	引き続き状況に応じ地域事業者のニーズ把握に努め、必要に応じて事業の実施を検討する。

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	07	01	03	174470	イベント開催時感染症対策支援事業費		
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興		
	施策	01	観光の魅力向上				
目的	イベント開催時の感染症拡大防止						
対象	市民および市内団体						
意図	イベントを実施する市民及び市内団体等に、感染症対策のため体表面温度計測器や消毒液自動噴霧器を貸出し、イベント開催時の感染症拡大防止を図る。						
事業概要	感染症対策機器の購入 1,009千円 ・体表面温度計測器の購入及び貸出し ・消毒器自動噴霧器の購入及び貸出し						
市民参加の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03
1				計画			
				実績			
2				計画			
				実績			
3				計画			
				実績			
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03
1				目標			
				実績			
2				目標			
				実績			
3				目標			
				実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症への緊急対策として実施した事業のため、指標は定めていない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	感染症対策において必須の機器であるが、機器の購入代金（レンタル料も同様）が高く、主催者側が準備をすることが困難のため、市で貸出すことにより、イベント開催時に感染拡大を防止できる
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	感染症の拡大防止及び体調不良者の早期発見により、イベント内での感染を防止できる
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	各イベントへの積極的な貸出しにより、来場者へ感染症対策としての啓発ともなる
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	予約制をとっており、団体の規模に関わらず貸出しができる
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	令和3年3月4日に感染症対策機器の購入を完了した。
	次年度に向けて	貸出し要領（仮）の制定及び運用に向け、関係機関との調整を行い、市内でのイベント関係主催者へ貸出しを実施する。